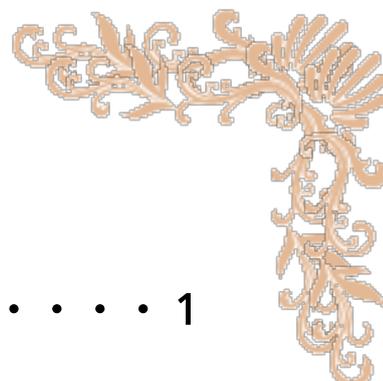


平成27年度（2015年度）
バリアフリー・ユニバーサルデザイン
推進功労者表彰
受賞事例集

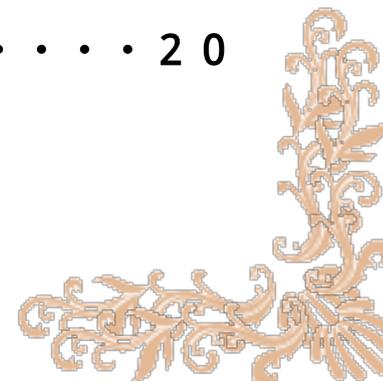


内閣府



目次

刊行にあたって	1
選考委員会委員長講評	2
内閣総理大臣表彰（1件）	
（団体）	
株式会社オーエックスエンジニアリング	3
内閣府特命担当大臣表彰	
優良賞（4件）	
（団体）	
公益財団法人横浜市芸術文化振興財団	
横浜能楽堂	5
川端鉄工所株式会社	7
株式会社主人公	9
地域共生型福祉施設整備協議会	11
過去の受賞者一覧	13
バリアフリー・ユニバーサルデザイン	
推進功労者表彰要領	19
選考委員会委員名簿	20



平成27年度 バリアフリー・ユニバーサルデザイン 推進功労者表彰受賞事例集の刊行にあたって

内閣府では、バリアフリー・ユニバーサルデザインに関する優れた取組を広く普及させることを目的として、バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰を実施いたしました。

この表彰は、高齢者、障害者、妊婦や子供連れの人を含むすべての人が安全で快適な社会生活を送ることができるよう、ハード、ソフト両面のバリアフリー・ユニバーサルデザインを効果的かつ総合的に推進する観点から、その推進について顕著な功績又は功労のあった個人又は団体を表彰するものです。

関係府省庁、都道府県、政令指定都市を通じて推薦のあった23件の事例のうち、今年度は、内閣総理大臣表彰1件、内閣府特命担当大臣表彰優良賞4件が選考され、表彰式において、加藤内閣府特命担当大臣からそれぞれ表彰状を授与されました。

国など行政だけではバリアフリー・ユニバーサルデザインを普及させることはできません。関係機関、関係者が広く本事例集を活用され、様々な分野においてバリアフリー・ユニバーサルデザインへの理解と関心を深め、「国民一人一人が自立しつつ互いに支え合う共生社会の実現」を目指した心温まる活動の輪が広がっていく一助となりますことを期待いたします。

平成28年2月
内閣府



平成27年度(2015年度)バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰式
開催日:平成27年(2015年)12月24日(木)
開催場所:中央合同庁舎第8号館 講堂

講 評

バリアフリー・ユニバーサルデザイン
推進功労者表彰選考委員会

委員長 高橋 儀平



平成27年度バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰を受賞された皆様、誠におめでとうございます。

平成27年度のバリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰には全国から「施設整備」6件、「製品開発」4件、「活動等」13件、計23件の応募がありました。いずれも優れたものばかりで、ご推薦いただいた関係省庁、各都道府県・政令指定都市の皆さまに深くお礼申し上げます。第1次審査では各推薦団体から提出された応募書類により各選考委員が書面上で予備審査を行いました。その結果を基に選考委員会で慎重に協議し、計8件の現地調査候補を選考しました。現地調査では各推薦団体から提出されていた応募書類の事実確認、施設や製品、活動の現状確認、追加ヒアリング等を行いました。最終選考委員会では各委員からの現地調査報告を基に厳正な審議を経て下記5件を今年度の表彰団体として決定しました。

内閣総理大臣表彰を受賞された「株式会社オーエックスエンジニアリング」は長年に渡り緻密なデータの蓄積と解析によって、独自の車いす設計プロセスを考案、多くの世界的トッププレイヤーの競技用車いすを開発した功績が極めて高く評価されました。内閣府特命担当大臣表彰優良賞は4団体を受賞されました。「公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 横浜能楽堂」は、様々な障害者が「能」・「狂言」を楽しむ「バリアフリー能」を毎年開催し、ハード、ソフト両面におけるサポートにより能の魅力を伝える継続的な活動が高く評価されました。「川端鉄工所株式会社」は、利用者の身体特性に合わせて高さや方向を自由自在に調整できる基盤技術「定圧ボールジョイント」を開発し、多様な製品に応用され商品化されていることが高く評価されました。「株式会社主人公 風の子スクエア」は、既存店舗を積極的にリノベーションし特別支援学校卒業後の就労支援の場の一つである障害者の就労継続支援事業所を展開する挑戦が高く評価されました。「地域共生型福祉施設整備協議会」は、福祉関係業務を行う4つの法人が共同で新たな運営主体を設立し、特別養護老人ホーム、在宅複合施設、障害者就労支援施設ワークセンター、訪問看護ステーションの4つの事業所を同一敷地内に複合・集合させるという、これまでにないタイプの複合型福祉施設を実現したことが高く評価されました。

以上、受賞された各団体のバリアフリー、ユニバーサルデザインの推進事業は、私たちの共生社会をより豊かに発展させていくものと確信します。これらの受賞事例は、今後国内ばかりでなく海外へも広く発信されていくことが期待されます。最後になりますが、沢山の応募団体をご推薦して頂きました、都道府県・政令指定都市をはじめ全国各地の関係諸機関に改めて深く感謝申し上げます。

株式会社オーエックスエンジニアリング

(千葉県千葉市)

【概要】

車椅子製造事業者の多くが汎用品を海外で製造しているのに対し、材料加工から出荷まで一貫した国内生産体制を構築し、車椅子事業参入前にバイクレースで培った技術を応用して競技用車椅子を開発。

その競技用車椅子で蓄積した軽量アルミやカーボン素材などの材料の選定・加工技術などのノウハウを日常用車椅子にも取り入れることで、ユーザーの体型、筋力や操作技術、障害の種類や程度、使用環境に合わせた軽量・コンパクトで、高い機能性・操作性、デザイン性を兼ね備えた独創的な日常用車椅子を商品化している。

【特に顕著な功績・功労】

- ・ 販売当初より収集した44,000台、27,000人分のデータを基に複数パターンの車両フレームを開発し、その他のタイヤ、ホイールやブレーキなどの主要部品についても複数種類から選択可能としている。加えてタイヤ色やフレーム色も自由に選択ができ、カラーバリエーションも豊富であり、ユーザーの好みに応じた組み合わせが自在である。
- ・ 日常用車椅子にも関わらず、軽量アルミやカーボン素材を使用することにより、車椅子にとって重要な重量を可能な限り抑え、スマートなフレーム前方形状を採用するなど高いデザイン性を追求。
- ・ ユーザーに、外出する喜びを提供することで、心のバリアフリー化にも貢献している。
- ・ なお、競技用車椅子（テニス、陸上、バスケ等）の分野では国内有数のシェアを獲得するトップメーカーとなっている。

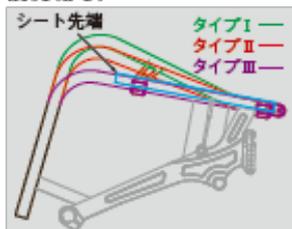
(参考) 競技用車椅子

- ・ 過去7回の夏季・冬季パラリンピック競技大会で、106個のメダルを獲得。
- ・ 車椅子競技大会（テニス、陸上、バスケ等）に年間20回程度のボランティア参加をして、参加する選手のため車両メンテナンスのサポートを実施。



フレーム、ホイールパターン例

前方形状



・タイプI

メインフレームの前方形状をシート先端より高く設定しています。プッシュアップ時に掴む「グリップ」としてお役立ていただけます。

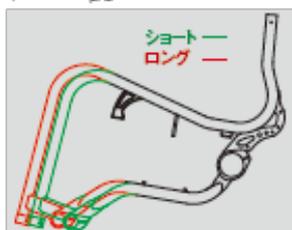
・タイプII (NEO/NEOplusの場合「アップ」)

メインフレームの前方形状をシート先端より高く設定しています。タイプIフレームとタイプIIIフレームの中間です。

・タイプIII (NEO/NEOplusの場合「スムーズ」)

メインフレームの前方形状を座面と平行でほぼ同じ高さに設定しています。移乗のときにメインフレームが邪魔になりにくい形状です。

フレーム長



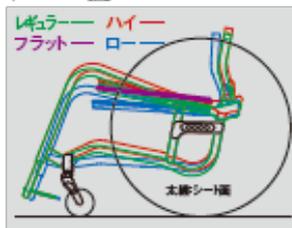
・ショート

メインフレーム前方を短めに設定しています。ホイールベースが短く、クイックな乗り心地です。狭い場所でターンがしやすい形状です。

・ロング

メインフレーム前方を長めに設定しています。ホイールベースが長く、安定した乗り心地です。身長が高い方にお勧めです。

フレーム高



・レギュラー (NEO/NEOplusの場合「ミディアム」)

オーエックスの車いすの中では標準的なフレームです。適度なシート角度^{※1}が身体を安定させます。機動力に優れたこぎやすいフレーム形状です。

・ハイ

身長が高い方や、高い目線で生活したい方、高い机などでのお仕事にオススメなフレームです。

・フラット

レギュラーフレームに比べ、シート角度^{※1}を小さく設定しています。大腿部に体重をかけやすく、体圧分散に効果的^{※2}なフレーム形状です。身体を前にずらしやすく、移乗がしやすいフレームです。

・ロー

「レギュラー」に比べ座面を低く設定した低床タイプのフレームです。足が地面にとどきやすく、足こぎに便利です。

※1 シート角度:水平面に対するシート面の角度

※2 お体に合ったクッションや車いすの調整が必要です。

⑨ ホイール



競技用車椅子使用例



公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団 横浜能楽堂
(神奈川県横浜市)

【概要】

横浜能楽堂は、平成12年から年1回、より多くの方へ「能」・「狂言」に触れて、楽しんでいただくことを目的として、障害者も楽しめるよう企画した「バリアフリー能」を開催している。

公演の前後には、各障害者関係団体や鑑賞者の意見を聞き、また、平成24年度からは公演後に鑑賞者を集めた「公演内容向上のための意見交換会」開催し、障害者にとって公演前や当日に必要な様々なサポートの導入にフィードバックしてきた。

また、公演前に職員全員参加で障害者から話を聞く研修を実施し、ソフト面のサポート体制の充実にも努めている。

【特に顕著な功績・功労】

・ サポート内容

(視覚・聴覚障害者向け) 公演日とは別に、「事前施設見学会」を実施。

舞台見学、舞台触図

(視覚障害者向け) 点字パンフレット、点字チケット、副音声、触れる能面

(聴覚障害者向け) 手話通訳、パソコン通訳、デジタル機器(タブレット端末やウェアラブル端末など)の活用

(知的障害者向け) 台本へのルビ・挿絵の掲載、途中入退場可

(全般) 介助者1名無料



公演内容向上のための意見交換会



チラシ (一部抜粋)



事前施設見学会

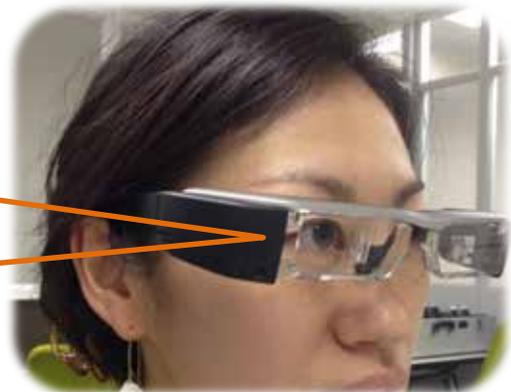
触れる能面



上映内容の字幕配信
(iPad、ウェアラブル端末)



(iPad やウェアラブル端末で字幕を確認しながら鑑賞)



川端鉄工所株式会社

(石川県能美市)

【概要】

様々な能力障害への対応を可能とする基盤技術である「定圧ボールジョイント」を開発し、「個々人への適合が不十分」といわれる福祉用具の抱える課題に対応。特注品の作製にとどまらず、利用者の身体特性に合わせて高さや方向を自由自在に微調整できる、利用者本位の福祉用具の自社標準品を開発・販売。

これらは、県のバリアフリー推進工房(県のリハビリテーションセンター、工業試験場、土木部建築住宅課で構成される医工連携組織)との関わりを深める中で、障害者や介助者の多様なニーズを蓄積し、さらに、利用者の個別のニーズの共通項を抽出するなどの地道な積み重ねによって可能となった。

【特に顕著な功績・功労】

- ・ 微調整が容易にできるヘッドレストやノートパソコンスタンドなどの自社製品を販売するほか、大手福祉用具メーカーへのOEM製品も生産。
- ・ 「定圧ボールジョイント」は、手術用機器や様々な分野の計測機器の固定具としても利用され、医療機関、大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所など高度専門領域への広がりも見せている。
- ・ 「現場第一主義」を徹底し、必要に応じ出張をしながら製品の試作・試用、利用者に合わせた調整・改良、使用後のメンテナンスに至るまで、機動的かつきめ細やかに対応。

(参考：定圧ボールジョイント)

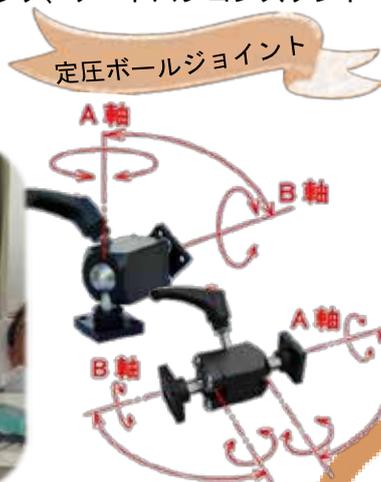
車椅子のヘッドレスト等の微調整を現場で最終的に行う際に、利用者や介助者双方の負担を軽減する技術。「適正な角度を見つけながら固定する際にぐらつかず、一定の保持力(固定力)があり且つ締め付けやすい構造が必要」とのユーザーニーズにより開発。ヘッドレスト、ジョイスティック、ノートパソコンスタンド等の様々な福祉用具の固定具として使用される。



自社製品の溶接



出張による調整



基盤技術から福祉用具・ユニバーサルデザイン製品へ展開



ヘッドレスト固定アーム
「MGK5L・MGK5R」
補装具完成用部品に認定

補装具分野



開閉式ジョイスティックアーム
「くるっとカチャット」

自社の標準品



フレキシブルアーム
「コンフォートチンアーム」



カメラ・モニター固定アーム
映写機クワンのOEM製品に採用



ボールジョイント
基盤技術



ヘッドレスト固定アーム
「ハイネック」



日避け固定アーム
「シェード」



上肢支持具
「グリグリップ」



内視鏡鼻腔手術用スタンド
湘サージトレナーの医療機器に採用



手術用上肢固定器具
關東労災病院の医療機器に採用



会話補助装置スタンド
パナソニックエイジフリーライフテック機、
レッツチャット用スタンドアームに採用

OEM製品

医療分野



ノートパソコンスタンド
「パソコンテル」



タブレットホルダー
「スバット」

株式会社主人公 風の子スクエア

(愛知県弥富市)

【概要】

地域に開かれた就労支援の場作りを目指し、食肉加工工場兼店舗を障害者の就労継続支援事業所としてリノベーションした施設。

現在、特別支援学校卒業後3年目までの男女10人(利用メンバー)が就労。カフェで働く者、多目的ホール内設備の確認をする者など、作業の細分化などにより、全員が能力を効果的に発揮できるようにしている。また、利用メンバーと地域との関係性を深めるために、地域住民の要望を踏まえた各種イベントを開催するなど、地域住民との交流も活発に行われ、障害者との共生社会の実現につながる活動を行っている。

元店舗スペースを「カフェ」、元工場スペースを「多目的ホール」に改造。その他、夏季は大型プールが設置される「ウッドデッキスペース」やフットサルができる「グラウンド」が併設。

【特に顕著な功績・功労】

- ・ カフェでは、利用メンバーは簡単な調理、盛り付けや、注文、配膳、下膳、食器拭き、店内の掃除などを行っている。
- ・ 多目的ホールは、大型のトランポリン、ボールプール、150インチのスクリーン等が配置され、地域住民やカフェの来客者に開放。利用メンバーは、設備の消毒や傷み・破損の確認等を行い、利用メンバーと来客者が日常的に自然と交流する場となっている。
- ・ 多目的ホールでは、朝のラジオ体操、夏祭り、クリスマスパーティー、映画の自主上映会等が行われ、利用メンバーと地域住民と一緒に利用し、活発に交流している。
- ・ 風の子スクエアは、障害のある方々にとって働く事でしか得られない喜びを与える場となっているだけでなく、地域との交流により社会とのかかわりを持つ場にもなっている。

施設外観





カフェの様子



多目的ホール、各種イベント会



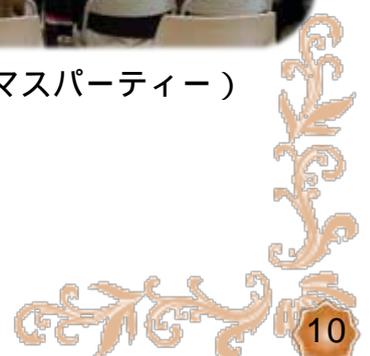
(ハロウィンパーティー)



(クリスマスパーティー)



(夏祭り)



地域共生型福祉施設整備協議会

(京都府与謝郡与謝野町)

【概要】

障害・高齢・児童の垣根を越えた新たな福祉基盤を整備するため、平成22年に町の呼びかけにより、福祉関係業務を行う4つの法人が「地域共生型福祉施設整備協議会」を設立。平成25年に「特別養護老人ホーム」、「在宅複合施設」、「障害者就労支援施設ワークセンター」、「訪問看護ステーション」の4つの事業所の複合体である『地域共生型福祉施設「やすらの里」』を竣工・開所。

協議会では、施設の整備内容を検討するため様々な福祉施設の見学や勉強会を実施。

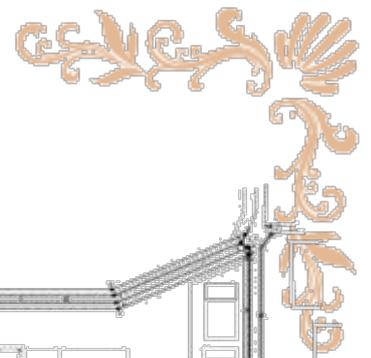
また、設計段階から、これまで培われたノウハウやアイデアを出し合い、エリア毎に認識しやすい木戸のデザイン、各室毎に異なるカラーリング、腰壁と併せて二段になる手摺りなど随所にユニバーサルデザインが施されている。

【特に顕著な功績・功労】

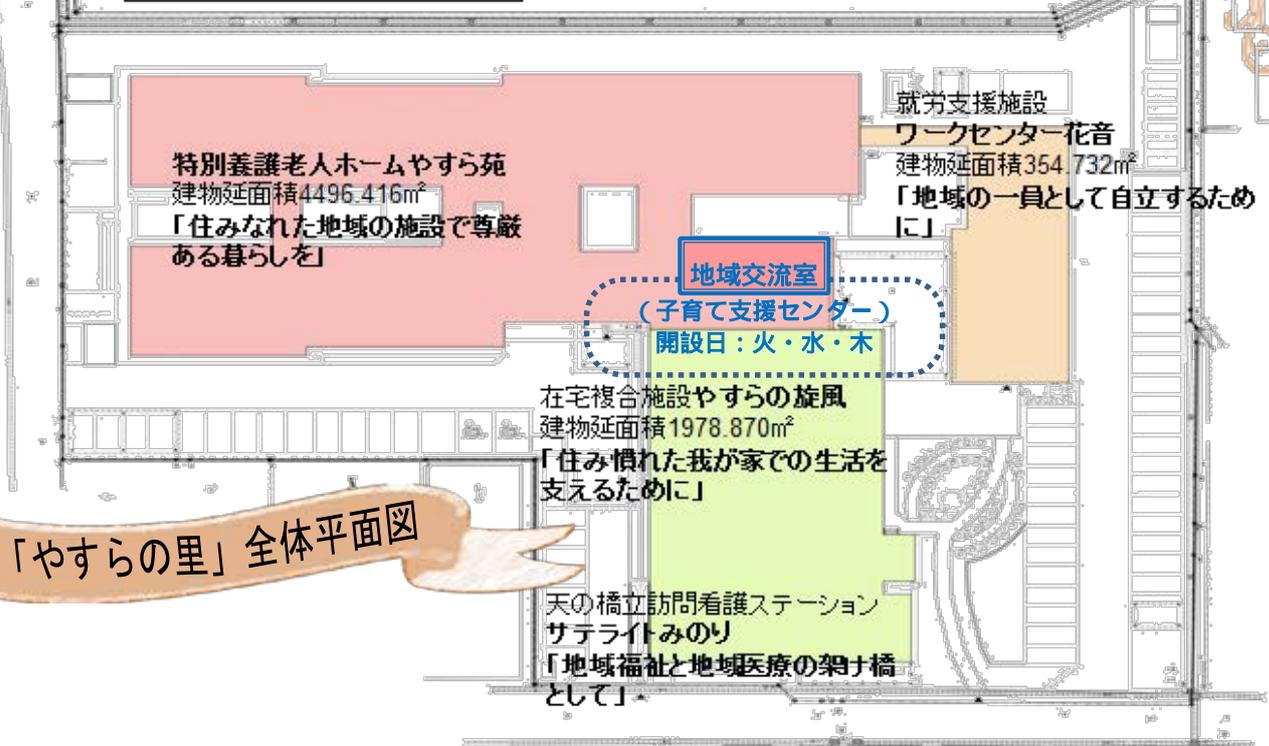
- ・ 「障害者就労支援施設」の障害者は、「やすらの里」の共用部分の清掃や、食事の下ごしらえ、配食もしており、施設を利用する高齢者との交流の機会にもなっている。
- ・ 「特別養護老人ホーム」の中には、「地域交流室」があり、障害者や高齢者のみならず、町が週に3回開設する「子育て支援センター」を利用する乳幼児とその保護者との交流の場になっている。
- ・ 「やすらの里」は、特別養護老人ホームに入居する高齢者、障害者就労支援施設ワークセンターの障害者スタッフ、地域の乳幼児とその保護者が安心して交流できる施設として運営されている。

「やすらの里」施設外観





敷地面積: 7664.450㎡
床面積: 3214.604㎡



「やすらの里」全体平面図

(参考) 地域共生型福祉施設整備協議会を構成する団体

- ・社会福祉法人 与謝郡福祉会 : 特別養護老人ホーム、高齢者総合福祉施設を運営
- ・社会福祉法人 よさのうみ福祉会 : 障害者支援施設、生活介護事業所などを運営
- ・公益財団法人 京都府看護協会 : 訪問看護ステーション、看護師の教育研修活動など
- ・NPO法人 丹後福祉応援団 : 移動福祉理美容車事業、訪問介護事業などを運営

地域交流室での様子



バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰
～過去の受賞者一覧～

	第1回受賞 平成14年度 (2002年度)	第2回受賞 平成15年度 (2003年度)	第3回受賞 平成16年度 (2004年度)
内閣総理 大臣表彰	新井リゾート開発 株式会社	京成ホテル 株式会社	湖南省
	下田タウン 株式会社		南砺市
内閣官房 長官表彰 (第3回 までは、 内閣官房 長官表彰 となる。)	Accessible 盛岡	伊勢佐木町1・2丁目 地区商店街振興組合	荒 由利子
	伊丹市	岐阜経済大学まちなか共 同研究室マイスター倶楽 部	伊予鉄道 株式会社
	財団法人共用品推進機構	訓子府町	株式会社 イトーヨーカ堂
	株式会社京急 ファインテック	医療法人圭佑会 澤歯科医院	株式会社 オリエンタルランド
	財団法人 すこやか食生活協会	伊勢原・誰もが住みよい街 づくり懇話会	高齢者住宅環境整備 ボランティア会
	NPO デイヘルプ	NPO 日本サスティナブル・ コミュニティ・センター	仙台シニアネットクラブ
	NPO 福祉のまちづくり市 民ネットワーク	肥後タクシー 有限会社	独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備 支援機構、 九州旅客鉄道株式会社
	バリアフリーデザイン 研究所	広島電鉄 株式会社	
	むくどりホーム・ ふれあいの会	福岡県田川郡 大任町立大任小学校	トヨタ自動車株式会社
		村山 輝子	
	有限会社 料亭こもだ		

- 1 「バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰」は、第6回までの間、「バリアフリー化推進功労者表彰」として実施
- 2 「受賞者」の名称は当時のままの名称で記載している
- 3 NPOとは、特定非営利活動法人(NPO法人)の略。

	第4回受賞 平成17年度 (2005年度)	第5回受賞 平成18年度 (2006年度)
内閣総理 大臣表彰	東陶機器株式会社	コクヨ株式会社
	NPO 大阪障害者雇用 支援ネットワーク	
内閣府 特命担当 大臣表彰	大牟田住まい・まち づくりネットワーク	ケア付き青森ねぶた 「じょっぱり隊」
	奥野 花代子	京王電鉄株式会社
	東京急行電鉄 株式会社	公立豊岡病院組合
	福岡市交通局	NPO シーエス障害者 放送統一機構
	有限会社雅樹雅	とっておきの音楽祭 実行委員会 SENDAI
	有限会社ハートフル・ウィング	富山ライトレール株式会社
		平田観光株式会社
	THE MAGICAL TOY BOX	

	第6回受賞 平成19年度 (2007年度)	第7回受賞 平成20年度 (2008年度)
内閣総理大臣表彰	株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ	品川区立戸越台中学校
	中部国際空港株式会社	富士ゼロックス株式会社
内閣府 特命担当大臣表彰 (優良賞)	岡山県立興陽高等学校	イオン九州株式会社 イオン鹿児島ショッピングセンター
	花王株式会社	泉北若松台A B住宅 団地管理組合
	京都リップル	全国障害学生支援センター
	NPO 全国視覚障害者 情報提供施設協会	豊中市
	凸版印刷株式会社	横浜市交通局
	はあとねっと輪っふる	
	兵庫県立福祉のまちづくり工学研究所	
ユニバーサルデザイン リフォームプラザ静岡		
内閣府 特命担当大臣表彰 (奨励賞)	大洗サーフ・ライフセービングクラブ	池野通建株式会社
	大阪市交通局	五木村立五木中学校・ 熊本県立人吉高等学校五木分校
	大日本印刷株式会社	株式会社袖ヶ浦自動車教習所
	トーワ株式会社	NPO 伊勢志摩バリア フリーツアースセンター
	NPO 子育て支援のNPOまめっこ	NPO 市民生活支援センター ふくしの家
		NPO はままつ子育て ネットワークぴっぴ
		NPO プロジェクトゆうあい
		ピュア・フィールド風曜日
		北極しろくま堂有限会社

	第8回受賞 平成21年度 (2009年度)	第9回受賞 平成22年度 (2010年度)
内閣総理大臣表彰	株式会社東京信友	NPO Color Universal Design Organization
		日本理化学工業株式会社
内閣府特命担当大臣表彰 (優良賞)	愛知県厚生農業協同組合 連合会豊田厚生病院	株式会社サン工藝
	カシオペア連邦はーとふる発見隊	株式会社特殊衣料
	株式会社タカラトミー	株式会社日立製作所 ユニバーサルデザイン 出前授業プロジェクトチーム
	財団法人 安全交通試験研究センター	東京電力株式会社
	財団法人 明治安田こころの健康財団	NPO ウィズアス
		有限会社アイ・シー・ アイ デザイン研究所
内閣府特命担当大臣表彰 (奨励賞)	尼崎交通局	あい・あーる・けあ 株式会社
	NPO 子育てネットすくすく	刈谷市総合文化センター アイリス
	NPO 多文化共生センターきょうと	
	NPO ユニバーサルデザイン・結	

	第10回受賞 平成23年度 (2011年度)	第11回受賞 平成24年度 (2012年度)	第12回受賞 平成25年度 (2013年度)
内閣総理大臣表彰	ケージーエス株式会社	シナノケンシ株式会社	日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク (PEPNet - Japan)
		社会福祉法人 全国手話研修センター	
内閣府 特命担当大臣表彰 (優良賞)	オムロン ソーシャル ソリューションズ株式会社	NPO UDくまもと	株式会社アメディア
	株式会社富士レークホテル	埼玉県警察本部交通部 交通規制課	NPO ケーネット知楽市
	株式会社 湯郷プラザホテル 季譜の里	社会福祉法人 太陽の家 サンストア	
	株式会社らむれす・ 三角山放送局	日進市立図書館	
	NPO まちづくり推進機構岡山	南医療生活協同組合	
内閣府 特命担当大臣表彰 (奨励賞)	国際ユニバーサルデザイン 協議会	早稲田大学ボランティア サークル 積み木の会	いしかわ総合スポーツ センター
			有限責任事業組合 A S I 栃木
			有限会社川藤
			京都府立京都八幡高等学校・京都府立八幡支援学校
			シティホールプラザ アオーレ長岡

	第13回受賞 平成26年度 (2014年度)	第14回受賞 平成27年度 (2015年度)	第14回までの 受賞件数
内閣総理大臣表彰	和歌山県立博物館施設 活性化事業実行委員会・和歌 山県立博物館	株式会社 オーエックスエンジニア リング	内閣総理大臣表彰 21件
内閣府 特命担当 大臣表彰 (優良賞)	藤野 稔寛	公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団 横浜能楽堂	内閣官房長官表彰 (1回～3回) 28件 内閣府特命担当大臣表彰 (4回・5回) 14件 内閣府特命担当大臣表彰 優良賞 (6回～14回) 43件
	株式会社電制	川端鉄工所株式会社	
	日本ブラインド サッカー協会	株式会社主人公	
		地域共生型福祉施設整備 協議会	
内閣府 特命担当 大臣表彰 (奨励賞)	大口町立大口南小学校		内閣府特命担当大臣表彰 奨励賞 (6回～14回) 29件
	てまるプロジェクト		
			総計 135件

バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰要領

平成 13 年 11 月 6 日
バリアフリーに関する関係閣僚会議決定
平成 24 年 4 月 20 日
一部改正

1. 目的

この表彰は、高齢者、障害者、妊婦や子ども連れの人を含むすべての人が安全で快適な社会生活を送ることができるよう、ハード、ソフト両面のバリアフリー・ユニバーサルデザインを効果的かつ総合的に推進する観点から、その推進について顕著な功績又は功労のあった個人又は団体を顕彰し、もって、バリアフリー・ユニバーサルデザインに関する優れた取組を広く普及させることを目的とする。

2. 表彰の対象

バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進に関して、施設の整備、製品の開発、推進・普及のための活動等において、極めて顕著な、又は特に顕著な功績又は功労のあった個人又は団体

3. 表彰者

極めて顕著な功績又は功労があったと認められる者については内閣総理大臣、特に顕著な功績又は功労があったと認められる者については内閣官房長官（ただし、高齢社会対策又は障害者施策を担当する内閣府特命担当大臣が置かれている場合には当該大臣。以下「担当大臣」という。）

4. 表彰の方法

表彰状及び記念品

5. 表彰の時期

表彰は、年一回行う。

6. 表彰の手続

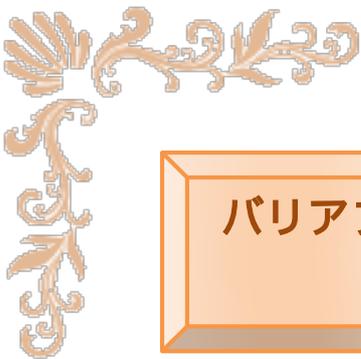
都道府県等から推薦された者のうちから、別に定める選考委員会の意見を聴いて、内閣総理大臣又は担当大臣が被表彰者を決定する。

7. 表彰の事務

表彰に関する事務は、関係各省庁の協力を得て、内閣府において行う。

8. その他

- (1) この要領に定めるもののほか、表彰の実施に関し必要な事項は、内閣府政策統括官（共生社会政策担当）が定める。
- (2) この表彰は、平成 14 年から 15 年間に限り実施することとする。



バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰
選考委員会 委員名簿

委員長

高橋 儀平 東洋大学ライフデザイン学部
人間環境デザイン学科教授

委員

勝尾 岳彦 日経 B P 社日経デザイン編集委員
金子 健 明治学院大学心理学部教育発達学科教授
篠 佳子 国立障害者リハビリテーションセンター講師
関根 千佳 同志社大学政策学部大学院総合政策科学研究科教授
田中 徹二 社会福祉法人日本点字図書館理事長
久松 三二 一般財団法人全日本ろうあ連盟常任理事
藤本 浩志 早稲田大学人間科学学術院教授
村田 幸子 福祉ジャーナリスト

(敬称略、50音順)



共生社会政策

内閣府政策統括官（共生社会政策担当）
（参事官（総合調整第2担当））

〒100 - 8914

東京都千代田区永田町1 - 6 - 1

中央合同庁舎第8号館 8階

電話：03 - 6257 - 1446

<http://www8.cao.go.jp/souki/barrier-free/bf-index.html>